

令和5年度 第3回 Faculty Development「医学部における倫理教育」開催報告

1. 日時と場所

令和5年10月18日（水）17:30-19:00 8号館 S-301 （参加者 30名）

2. 講師およびテーマ

講師：東邦大学医学部 教育開発室 廣井直樹 教授

テーマ：医学部における倫理教育

3. 開催目的

- ①他大学医学部の縦断的倫理教育について知る
- ②倫理教育の在り方について討論する

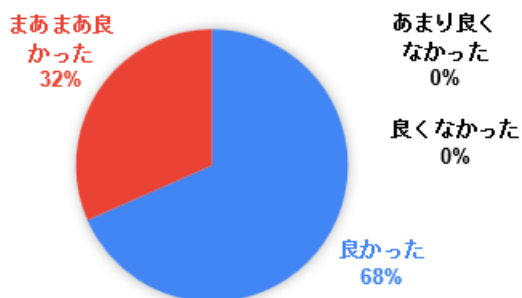
4. タイム・テーブル

		時間	講師	内容
2	開会	17:30	藤森敦也	医学部長挨拶
3	解説	17:32	亀岡弥生	求められる倫理教育
4	講義	17:37	廣井直樹	・医療倫理とはなにか、なぜ教育しなければならないのか ・東邦大学の全人的医療教育における倫理教育の位置づけ ・倫理教育カリキュラムについて
5	グループ ワーク	18:00		① 本学に必要な学年縦断的倫理教育カリキュラム案 ② 医療現場における倫理的ジレンマの事例
5	発表	18:35		各班の検討内容を発表する
6	質疑応答	18:52	廣井直樹	
6	閉会	18:30	大谷晃司	医療人育成・支援センター長挨拶

5. アンケート結果

Q1. 参加の動機：テーマへの関心（47%）、義務的参加（32%）、カリキュラムの作成ため（21%）

Q2. 講習会の評価



Q2 の理由	%
倫理教育に関する理解が深まった	62
ディスカッションを通しての学び	25
その他	13

Q3. 本日の内容で実際に役立ちそうなことについて

- 学生に問題を提示して、学生自ら考えさせるのは良いなと思った。
- 各論をとっかかりに行う。総論は上の学年で網羅的にやる。
- 自分の学生講義をもう少し参加型にしようと思った。
- 倫理教育を意識してBSLを行う事。
- プロフェッショナリズムを形成するために必要な要素
- 全人的医療人教育、部分ではなく総合的にとして考えていくこと。
- 医療倫理を臨床で教育し、全学年を通して継続しなくてはならないこと。
- カリキュラムやBSLに落とし込むことへのヒントが得られた。
- 具体的な倫理教育に関するご講義の内容、グループワークによる気づき。
- 初学年に対する医療人としての教育の重要性を強く認識した。